

「くまもと戦争と平和のミュージアム設立」基本構想案

(仮称) 一般社団法人 くまもと戦争と平和のミュージアム設立準備会
8月3日版

目指す三つの姿

- I 熊本空襲を調査・記録し、保存し、未来に継承する場とする！
- II 熊本の戦争の歴史とその遺産に学び、
戦争犠牲者に対する追悼・祈念の場とする！
- III 次の世代が、命の尊さ、平和の大切さを学び、
ヒトに伝える場とする！

ミュージアム、六つの特徴と性格

- 1 次世代の子ども達へつたえる！
「次の世代が、命の尊さ、平和の大切さを学び、ヒトに伝える場とする」ために、平和を希求する県民・市民の学習の場、集いの場、シンボリック施設とします。
- 2 歴史の客観性と総合性を！
「戦争の事実を正確に伝えること」を最大の目的とし、客観的かつ総合的なものを目指します。
- 3 熊本は平和活動発祥の地！
熊本は人間愛と人道主義のもと、いのちの尊厳と世界の平和を希求する「日本赤十字社」発祥の地としての特性を活かします。
- 4 「SDGs」平和と公正をすべての人に！
戦争という大きな暴力を無くし、世界の平和に向けて、持続可能な社会の実現のために、県都熊本市への設立を願っています。
- 5 平和のための調査と研究、情報の公開、
デジタルミュージアムを！
「戦争と平和」をテーマに、過去・現代・未来を結び付ける施設とします。
- 6 犠牲者追悼と平和を祈念して！
戦争の事実を正しく後世に伝え、戦争犠牲者への鎮魂の施設とします。

展示イメージ

ストリート展示①
「熊本空襲
～二度の大空襲
をへて～」



プロローグ展示
「熊本の戦争前史
～博愛社の発祥から、戦前の市民の暮らし～」



ストリート展示②
「熊本の戦争の歴史
をたどる
～熊本に残された
戦争の傷跡
“戦争遺跡七大特
徴”～」



特別展示
「昭和の戦争時代
～満州事変からア
ジア・太平洋戦争
までを、戦時資料
でたどる～」



エピローグ展示
「戦後の熊本、平
和社会の実現、未
来に向けて」